

2024年度

環境経営レポート

対象期間

(2024年 1月～2024年 12月)



®環境省
エコアクション21
認証番号0006050



ハナミズキ&キリシマツツジ【春の開花】(自社ガーデン)

株式会社 但馬緑化土木

発行 2025年1月30日

環境経営方針

【 基本理念 】

株式会社但馬緑化土木は、造園・緑化の知識と技能を生かし、お客さまの心豊かで緑豊かな環境を創造・維持管理し、経営における課題とチャンスを定期的に明確化し、環境経営を継続的に改善する事により、地球環境保全に貢献します。

【 行動指針 】

1. 緑の環境づくりを通じて、環境負荷の削減に取り組むために以下の事項を重点的なテーマとして活動いたします。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減（電力・ガソリン・軽油等）
 - ② 廃棄物分別と排出量の削減（コンクリート屑・木屑・可燃ごみ）
 - ③ 水使用量の削減（樹木への水遣り・洗車）
 - ④ グリーン購入の推進（造園資材・文房具）
 - ⑤ 環境に適した樹木の販売促進
（温暖化防止・遮光・耐煙などの機能に優れた樹木の販売）
2. 事業活動に関する環境関連法令・規則・条例等を遵守します。
3. 行政機関・団体などの環境保全施策に協力すると共に、地域社会における環境保全活動に対し、積極的に参画し、社会貢献活動を推進します。

制定日 2009年 10月 31日

改定日 2020年 1月 5日

株式会社 但馬緑化土木

代表取締役 稲津博文

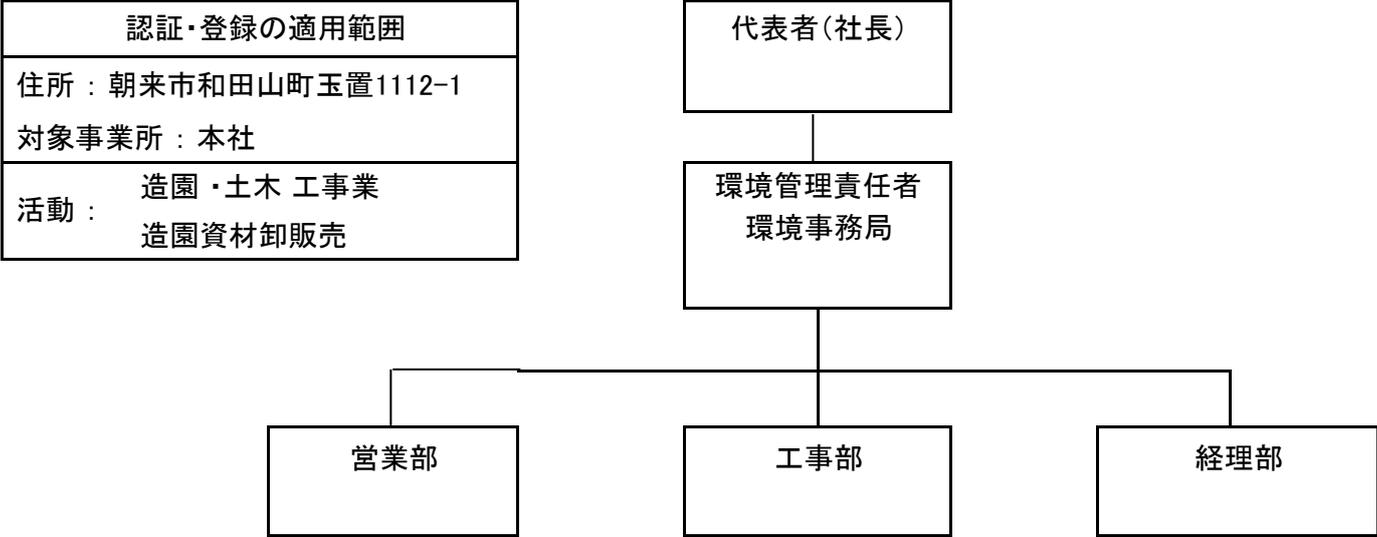
事業所の概要

- 事業所名及び代表者 株式会社 但馬緑化土木 代表取締役社長 稲津 博文
- 所在地 兵庫県朝来市和田山町玉置1112-1
- 環境管理責任者 稲津 晴美
連絡担当者 稲津 晴美
連絡先 TEL 079-672-2487 FAX 079-672-5173
E-mail tajima-1@arion.ocn.ne.jp
- 事業の内容 造園工事、土木工事、造園資材卸販売
- 建設業許可 (造園工事業)
[許可番号] 兵庫県知事 許可(特-3) 第600773号
[有効期限] 令和 3年12月25日 から 令和 8年12月24日
(土木工事業)
[許可番号] 兵庫県知事 許可(般-3) 第600773号
[有効期限] 令和 3年12月25日 から 令和 8年12月24日
- 事業の規模 資本金 30,000千円
法人設立 平成 2年10月

活動規模	単位	2022年	2023年	2024年
売上高	百万円	85	149	68
従業員	人	7	7	6
事務所床面積	m ²	176	176	176
敷地面積	m ²	4,230	4,230	4,230

- 事業年度 1月～12月
- 認証取得の範囲 組織名 …… (株)但馬緑化土木
対象事業所 …… 本社
活動 …… 造園工事、土木工事、造園資材卸販売

環境経営システム組織図



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンス明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・特定された項目の手順書作成 ・緊急事態への対応のための手順書作成及びテスト・訓練を記録 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書による運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のためのテスト・訓練を実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□ 主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	49,349	49,615	55,344	34,740	31,748	34,660
電力使用量	kWh	28,797	27,893	29,114	30,932	28,464	29,753
(排出係数)		【0.334】	【0.334】	【0.311】	【0.311】	【0.311】	【0.311】
ガソリン使用量	L	6,063	6,170	4,090	3,820	4,034	3,959
軽油使用量	L	8,125	8,579	12,732	4,697	3,845	5,101
灯油使用量	L	112	132	116	190	79	80
LPG使用量	kg	1,350	1,174	1,221	1,222	1,140	954
一般廃棄物排出量	t	0.425	0.403	0.404	0.407	0.404	0.408
産業廃棄物排出量	t	2.1	4.83	2.1	2.3	5.5	1.6
水使用量	m ³	884	790	949	1,016	922	878

□ 中長期環境経営目標

項目		年度	基準年度 2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
No.	環境コア指標	単位	実績	目標 削減率 1%	目標 削減率 2%	目標 削減率 3%	目標 削減率 4%
1	二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	55,344	54,790	54,237	53,683	53,130
	電力使用量削減	kWh/年	29,114	28,823	28,532	28,241	27,949
	ガソリン使用量削減	L/年	4,090	4,049	4,008	3,967	3,926
	軽油使用量削減	L/年	12,732	12,605	12,477	12,350	12,223
	灯油使用量削減	L/年	116	115	114	113	112
	LPG使用量削減	kg/年	1,221	1,209	1,197	1,184	1,172
2	廃棄物のリサイクル率向上 %						
	(一般) リサイクル率		47%	48%以上	48%以上	48%以上	48%以上
	総排出量	t/年	0.404	—	—	—	—
	再資源化量	t/年	0.188	—	—	—	—
(産業) リサイクル率			100%	100%	100%	100%	100%
	総排出量	t/年	2.10	—	—	—	—
	再資源化量	t/年	2.10	—	—	—	—
3	水使用量削減	m ³	949	940	930	921	911
4	グリーン購入の推進	品目/年	11	10	10	10	10
5	環境に適した樹木の販売促進	本/年	2023年度 55	70	55	55	55

※ 2023年度より基準年度を2021年度とし、毎年1%ずつ削減率を増やすこととする。

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、関西電力(株)2021年度実績の【0.311kg-CO₂/kWh】を2021年度より使用する。

※ 廃棄物のリサイクル率の目標値は当面現状レベル以上を目指す。

※ 化学物質は使用していないため、化学物質に関する目標は設定していない。

※ 環境に適した樹木の販売促進の目標数量を2023年度実績値に設定し見直した。

□ 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

※ 2024年度 2024年 1月 ~ 2024年 12月までの実績について、その評価を行いました。

取組計画	単位	目標	実績	目標値 判定	活動 達成状況	評価及び今後の方向		
		達成率						
1 二酸化炭素排出量削減 下記5項目の監視	kg-CO ₂	54,237	34,660	○	○	今後も更なる努力をする。		
		156%						
	① 電力使用量削減 ・不要電気の消灯 ・エアコン温度の適正化 ・電気製品の空運転禁止	kWh/年	28,532	29,753	△	○	不要電気の消灯・エアコン温度の適正化の意識向上の成果である。 今後も努力していく。	
			95%					
	② ガソリン使用量削減 ・アイドリングストップ ・適正な車両の整備 ・空気圧・オイル等の点検	L/年	4,008	3,959	○	○	意識の向上の成果もある。 今後も努力していく。	
			101%					
③ 軽油使用量削減 ・アイドリングストップ ・適正な車両の整備 ・空気圧・オイル等の点検	L/年	12,477	5,101	○	○	トラック・重機(軽油)の使用が多かった。 今後も努力していく。		
		244%						
④ 灯油使用量削減 ・室内温度の適正化 ・不在時点火の抑制	L/年	114	80	○	○	意識の向上の成果もある。 今後も努力していく。		
		142%						
⑤ LPG使用量削減 ・室内温度の適正化 ・不在時点火の抑制	kg/年	1,197	954	○	○	意識の向上の成果もある。 今後も努力していく。		
		125%						
2 廃棄物排出量削減	リサイクル率	%	48%以上	47%	△	○	今後も分別を徹底する。 古紙・封筒など活用できるものは できる限り利用する。	
			98%					
	(一般)	総排出量	t/年	—	0.408	○	○	分別を徹底して 今後も更なる努力をする。
		再資源化量	t/年	—	0.192			
	(産業)	リサイクル率	%	100%	100%	○	○	分別を徹底して 今後も更なる努力をする。
		100%						
総排出量	t/年	—	1.68	○	○	分別を徹底して 今後も更なる努力をする。		
	再資源化量	t/年	—				1.68	
3 水使用量の削減 ・節水意識の向上 ・植木水遣りの効率化 ・車両洗車の節水	m ³	930	878	○	○	節水意識の向上の成果もある。 今後も努力していく。		
		105%						
4 グリーン購入の推進 ・造園資材 ・文房具	品目/年	10	10	○	○	意識の向上の成果もある。 今後も努力していく。		
		100%						
5 環境に適した樹木の販売促進 温暖化防止・遮光・耐煙等の 機能に優れた樹木の販売促進	本/年	55	50	×	○	意識の向上の成果もある。 今後も努力していく。		
		90%						

※ 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100(%)、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100(%)

※ 目標値判定欄 ○:達成(100%以上)、△:やや未達成(95%~100%未満)、×:未達成(95%未満)

※ 廃棄物のリサイクル率の目標値は当面、現状レベル以上で行う。

□ 環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	順守すべき要求事項	評価
廃棄物処理法	委託契約書の締結、委託業者の許可証の保管、廃棄物保管、 廃棄物保管基準の順守、マニフェストの管理・報告 水銀使用製品廃棄物の適正処理	順守
騒音規制法	特定建設作業実施届出	順守
振動規制法	特定建設作業実施届出	順守
消防法	火災報知機の設置	順守
フロン排出抑制法	廃棄する業務用空調機の適正処理・簡易点検・記録の実施	順守
自動車リサイクル法	廃棄する自動車の適正処理	実績なし
家電リサイクル法	廃棄するテレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン等の適正処理	実績なし

※ 関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。
同様に、地域住民からのクレームもありませんでした。

□ 地域交流の様子



2024年11月13日、今年も 地元の小学2年生が社会科授業の「町たんけん」で 自社に来てくれました。樹木は、二酸化炭素を吸収して酸素を放出する 生活環境に良い役割をしているんだよ という説明を熱心に聞いてくれました。

将来を担う子供たちに、樹木に関心を持ってもらえる機会があり とても良かったです。

『みどりと環境コミュニケーション』への意欲と励みになりました。

□ 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

今年度は、二酸化炭素排出量削減を始めとして殆どの項目で目標達成できました。

環境に適した樹木の販売促進が未達成であったので、会社全体で環境への意識の向上を高めて達成できるよう努力したいきたいと思います。

今後も、特に、環境に適した樹木の植樹と販売・造園資材のリユースを推進していきたいと考えます。

『みどりと環境コミュニケーション』のキャッチフレーズで、方針・目標の達成を継続していきます。

なお、環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画及び実施体制について変更はしません。

2025年 1月 30日

代表取締役 稲津 博文